

2023年(令和5年)4月5日(水曜日)

医師目指す4人を激励

酒田市 白崎資金奨励金を贈呈

酒田市の「白崎資金医学振興奨励金」の贈呈式が3日、同市南新町二丁目の旧白崎医院で行われ、今春に国公立大医学部に進学する同市出身の4人に対し、鈴木教育長が奨励金を手渡した。

白崎資金は、同市中町二丁目で外科医を開業していた故白崎重彌氏の意志に基づき、旧市が1980年に創設。医院跡地が市に寄付され、市がこの土地を酒田駐車ビルに賃貸して得る収益で芸術・文化、スポーツ、科学振興の顕



鈴木教育長(右)から目録を受け取る町屋さん

彰事業などを行っている。医学奨励金は一人に60万円を贈るもので、前年度までの贈呈者は136人。

今年も、いずれも酒田東高出身で、山形大医学部に進む後藤宗哉さん(18)と右井恵太さん(18)、新潟大医学部に進学する中村元紀さん(18)、秋田大医学部の町屋日菜さん(19)の計4人。

山形・新潟両大はこの日が入学式で、贈呈式には町屋さんのみ出席した。

この日贈呈式が行われた旧白崎医院は市が中町二丁目から移築したもの。白崎氏の遺影がある2階の一室で、鈴木教育長が町屋さん

めてどうぞといます。白崎先生の思いが詰まった資金を活用し、市は子どもたちを応援している。世界に羽ばたき、ゆくゆくは酒田に戻って活躍していただけたらうれしい。学生生活を楽しみながら頑張ってくださいと激励した。

町屋さんは「中学生の時、患者の生命に直結する医師という職に興味を持ち、医師体験やセミナーに参加してきた。患者との対話・コミュニケーションを大切に、信頼される医師になりたい」と抱負を語った。町屋さんによると、秋田大の入学式は5日で、新たな第一歩を踏み出す。